

## 事業シート（概要説明書）

個別事業名	ごみ収集運搬委託事業	事業開始年度	昭和46年					
上位施策事業名	廃棄物対策、循環型社会の推進	担当局・部名	環境経済部					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、 入間市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	担当課・担当名	総合クリーンセンター					
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	小林 正和					
実施の背景	現在、経済成長に伴って、地球規模での廃棄物の増加と質の多様性が起こっています。適正処理が行われない廃棄物は生活環境や公衆衛生を悪化させ、時に深刻な健康被害を引き起こす可能性があります。持続可能な社会形成を築くには、廃棄物の適正処理に努める必要があります。							
目的 (何のために)	分別収集及びごみの減量化・資源化の推進のため、家庭ごみの収集運搬業務委託を行うものです。							
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	全住民	対象者数（全住民に対する割合） 146,808 人（100%）					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先：(有)入間集積産業ほか10社）						
		<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体：）						
		<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先：） <input type="checkbox"/> その他（）						
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 家庭から排出される家庭ごみを市内約4,100カ所あるごみ集積所から収集運搬委託業者10社で総合クリーンセンターへ運搬するものです。収集日は、年末年始及び日曜日を除く、月曜日から土曜日までで、祝祭日も収集しています。収集内容は、可燃ごみ週3回、不燃ごみ及びプラスチック・ビニール類週1回、資源ごみの古布、紙類、ビン、缶、ペットボトル、有害ごみは月4回の収集を行っています（収集日程の例は別紙）。また、これとは別に、粗大ごみの収集も行っており、集積所からの収集業者とは別の1社で、この事業に係る委託業者は11社となります。この11社の選定方法は入札で、現在の契約は、平成29年度から令和3年度の5年間長期継続契約としています。長期契約とした理由は、人的雇用及び収集車両の減価償却を鑑み、一定期間の業務委託が適当であること。また、同一業者による一定期間の収集体制を確保することで、分別収集を始めとしたごみ処理システムの円滑化に繋がることからです。							
関連事業 (同一目的事業等)	資源再利用奨励補助事業							
コスト	2021 年度（予算）		2020 年度（決算）		2019 年度（決算）		2018 年度（決算）	
	事業費合計	552,378 千円	552,141 千円	545,475 千円	540,211 千円			
	事業費内訳 (2020年度分)	各委託業者へ支払っている委託料は下記のとおりです。 ・可燃ごみ収集運搬業務委託 3社 計266,889,480円 ・不燃ごみ及びビニール・プラスチックごみ収集運搬業務委託 5社 計135,460,710円 ・資源ごみ収集運搬業務委託 4社 計134,610,022円 ・粗大ごみ収集運搬業務委託 1社 15,180,000円 毎年、約5億5千万の委託料を支払っています。						
	人件費	担当正職員	2人 15,800 千円	2人 15,800 千円	2人 15,800 千円	2人 15,800 千円		
		臨時職員等	1人 4,600 千円	1人 4,600 千円	1人 4,600 千円	1人 4,600 千円		
		人件費合計	3人 20,400 千円	3人 20,400 千円	3人 20,400 千円	3人 20,400 千円		
総事業費	572,778 千円	572,541 千円	565,875 千円	560,611 千円				
財源 内訳	国県支出金							
	国県支出金の内容							
	地方債							
	その他特財	39,428 千円	65,689 千円	69,391 千円	77,718 千円			
	その他特財の内容	資源物売払代金						
一般財源	533,350 千円	506,852 千円	496,484 千円	482,893 千円				
財源合計	572,778 千円	572,541 千円	565,875 千円	560,611 千円				

事業シート（概要説明書）

個別事業名		ごみ収集運搬委託事業			事業開始年度	昭和46年	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2020 年度	2019 年度	2018 年度
		収集総重量		t	32,436.55	31,650.89	31,854.44
					/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	収集総重量	円/t	17,651	17,733
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	令和元年度に実施した市民意識調査ではごみ収集・処理の満足度は全体の第3位です。平成26年度の同調査でも第3位とかなり高い評価をいただいています。今後もこの水準を維持できるよう努力していきます。					
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2020 年度	2019 年度	2018 年度
					/	/	/
					/	/	/
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	<p>総合クリーンセンターは、平成8年度より稼働を開始しており、今年で25年を迎えています。平成31年3月策定の間人市公共施設マネジメント事業計画では、クリーンセンターの再整備・再配置計画について、2029年から2038年の期間に「再整備方法の検討」とされていることから当面の間、定期的な修繕、改修工事を実施し長寿命化を図り、計画に沿って再整備計画及び処理能力について検討し決定する考えです。</p> <p>現在、市内には約4,100カ所の集積所がありますが、年間で約50カ所づつ集積所の数が増えています。家庭ごみの収集量は毎年、若干ではありますが減っています（別紙ごみ収集量の推移参照）。昨年度はコロナ禍による巣ごもりのため若干増えています。これは、減量に関する広報や各地区へ出向いてのごみ減量に関する地区説明会などを実施し、市民のごみ減量に対する意識が向上したものと考えています。集積所の数は確実に増えているため、収集運搬業者の負担が増えています。収集運搬委託料については、毎年、ほぼ横ばいですが、多額の委託料をほぼ一般財源で賄っていることについて、受益者負担の観点からも家庭ごみの有料化とごみ減量についても検討をしたいと考えています。近隣5市で家庭ごみの有料化を行っている市はありませんが、各市とも有料化については、検討しなければならないと考えているようです。</p>						
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	近隣5市の状況については、別紙のとおりです。						
特記事項							

ごみ収集日程の例

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	可燃ごみ	ビン・缶・ ペットボトル 有害ごみ	可燃ごみ	プラスチック・ ビニール類	可燃ごみ	不燃ごみ
7	8	9	10	11	12	13
	可燃ごみ	古布・紙類	可燃ごみ	プラスチック・ ビニール類	可燃ごみ	不燃ごみ
14	15	16	17	18	19	20
	可燃ごみ	ビン・缶・ ペットボトル 有害ごみ	可燃ごみ	プラスチック・ ビニール類	可燃ごみ	不燃ごみ
21	22	23	24	25	26	27
	可燃ごみ	古布・紙類	可燃ごみ	プラスチック・ ビニール類	可燃ごみ	不燃ごみ
28	29	30	31			
	可燃ごみ	収集なし	可燃ごみ			

ごみ収集総量の推移

単位:t

		H28	H29	H30	R1	R2
可燃ごみ		24,148.81	23,961.56	23,774.37	23,481.15	23,868.92
不燃ごみ		1,614.66	1,561.50	1,626.56	1,723.34	1,837.47
粗大ゴミ		298.34	284.18	295.69	308.55	302.12
資源ごみ	プラ・ビニール類	2,325.75	2,333.83	2,337.40	2,371.46	2,458.45
	ビン	995.21	950.65	916.88	890.03	923.64
	缶	309.28	326.00	332.16	322.77	322.69
	ペットボトル	427.81	463.06	496.49	484.12	501.20
	古布・紙類	2,336.63	2,171.92	2,074.89	2,069.47	2,222.06
合 計		32,456.49	32,052.70	31,854.44	31,650.89	32,436.55

## 他市との比較

市名	有料化の実施	収集日	集積所の数	収集委託業社数	委託率	収集量
所沢市	無	可燃 週2回 不燃 月2回 ビン・缶・ペットボトル 月2回 古布・紙類 月1回	約10,000箇所	2組合	70%	約102,000t
狭山市	無	可燃 週2回、 不燃 月1回 ビン・缶 月2回 古布・紙類 月2回	約4,000箇所	8社	100%	約30,000t
飯能市	無	可燃 週2回 不燃・ビン 月1回 ビン・缶 月2回 古布・紙類 月2回	約2,600箇所	3社1組合	100%	約23,400t
日高市	無	可燃 週2回、 ペットボトル 月2回 ビン・缶 月1回 古布・紙類 月2回	約900箇所	1組合	100%	約12,000t
入間市	無	可燃 週3回、 不燃 週1回 ビン・缶・ペットボトル 月2回 古布・紙類 月2回	約4,100箇所	11社	100%	約32,000t

※各市とも令和2年度の状況